

2020年8月29日

**脳血管内科・脳神経内科では当院および全国45施設に脳梗塞で入院した患者さんの
情報を使って、下記の研究課題を実施しています**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】2014年10月～2016年9月の間に、当院および他の施設に脳梗塞で入院した方。全国46施設のデータを利用しますが、詳細をお知りになりたい方は下記連絡先までご連絡ください。

【研究課題名】脳主幹動脈閉塞による脳卒中に対する血管内治療：Recovery by Endovascular Salvage for Cerebral Ultra-acute Embolism (RESCUE)-Japan Registry 2 研究のデータベースを用いた解析

【研究責任者】国立循環器病研究センター 副院長 豊田一則

【研究の目的】脳主幹動脈閉塞に対する血管内治療と内科治療が患者の予後に与える影響を、様々な患者特性に応じて明らかにするため、RESCUE-Japan Registry 2 に登録された患者データを対象とし、後方視的に検討する

【利用する診療情報】

・下記情報について、兵庫医科大学から匿名化されたデータの提供を受けます（研究責任者：吉村紳一 [兵庫医科大学脳神経外科]、坂井信幸 [神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科]）。

・性別、年齢、発症前 mRS スコア、心房細動（有・無）、血管リスク因子（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）、既往歴（脳卒中、うっ血性心不全）、発症前抗血栓薬使用状況（抗血小板薬、ワルファリン、DOAC 各種）、喫煙（有・無）、発症から来院までの時間、来院時の NIH Stroke Scale スコア、来院時の Alberta Stroke Program Early Computed Tomographic Score、閉塞血管（内頸動脈、前大脳動脈、中大脳動脈、椎骨動脈、脳底動脈、後大脳動脈）、タンデム閉塞（有・無）、収縮期血圧、血液検査データ（白血球数、ヘモグロビン、血小板数、グルコース、クレアチニン、プロトロンビン時間）、血栓溶解療法（有・無）、血管内治療（有・無）、発症 72 時間（±8 時間）後の NIH Stroke Scale スコア、発

症 90 日後の mRS スコア、発症後 90 日（±10 日）以内の死亡、発症後 72 時間（±8 時間）以内の全頭蓋内出血、発症後 72 時間（±8 時間）以内の出血性梗塞、発症後 72 時間（±8 時間）以内の症候性頭蓋内出血

【研究期間】 研究許可日より 2025 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。本研究で得られた臨床情報およびその抽出口ジックを将来、脳卒中や循環器疾患の研究のために二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施し、情報公開文書を国立循環器病研究センター公式サイト（<http://www.ncvc.go.jp/>）の『実施中の臨床研究』のページに公開いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科 担当医師 田中 寛大
電話 06-6170-1070(代表)